



雨宮勇美サン

ロータリーのRE雨宮としては、やっぱりニューRX-7は気合いを入れます。ノーマルのボテンシャルもすんごくイイんで、それを壊さないように、エアロパーツから機能パーツまでキッチリ仕上げていきます。自信タップリだから、期待してください。

それと、ロータリーの3プラグの研究もさらにグレードアップさせます。コレは、トルクアップ・燃費向上とイイコトすぐめ。とにかく、'92年もガンバリまーしゅ!!

(あめみや・いさみ)
チューニング大好き人間なら、ロークリー
エンジンに興味がなくったって「アマさん」
は知っている。RE雨宮自動車の代表



藤田儀晴サン

まずは、ニューポルX-7をキツチリと仕上げていきます。方向的には2バターン。シーケンシャルシステムを生かしたファインチューニング。それとタービンなどを交換してのハードチューニング。こっちのほうは、お客様としてのデータ取りとして進めていくつもり。

あとはFC3Sの公認車両の充実と、ハードパーツからウエアなどのソフトパーツまでのFEEDブランドを、去年以上にドンドンと出していこうと考えています。



牧原道夫サン

今年は、とにかく自障りになるくらい動き回るぞ! 各地のショーを必須に、チューニングの開発にしても、頭で考えるコトも大切だけど、それをすぐに形にするために、すぐ行動に移すよ。

チューンに関しては、お店のGTO-101を使って、思い付いたコトを全部導入して、納得いくまで、研究・開発する。

そんなワケで、'92年はアレコレと動き回って、さらに実力を付けるから、みんな期待しててね!

(まきはら・みちお)
いつまでも速いモノに憧れている、少年の心を大切にしている人。オールマイティなショップ、トライアルの代表でもある



山澤正紀サン

車種的にはニューポルX-7、A E 101、バルサーなどを、とくに力を入れてやっています。

去年までのウチの考えは、速く走るために、まずイイ足まわりにするコト、それに沿ってサスペンションの開発に力を入れてきた。今年は、それに加えて、エンジン関係についても、今まで以上に、いろいろとやっていこうと思っている。

やるコトはイッパイあるが、ひとつずつ完璧に仕上げていくよ。



伊藤洋介

モノ足りねえよっ! そーいわれるかもしれないけれど、より路線を強めるだろうね、YVは。まあ、ウチはウチなりにやるっきゃない! あとは、臨機応変、完全なりゆきで、おもれえのをバコバコ連発(できたらいい)。それから走行会、これはなんとしても全国各地でやっていきたい、行かなきゃならないよね。ドンドン意見を聞かせてくれよナ、みんな。スタッフを代表して、こーんなふうにガンバらせてもらいますよっ!

(いとう・ようすけ)
業界の隠れキャラという異名をもつ、YVスタッフのなかでも一番のクワセ者。そんなことどーでもいい。ヘンなヤツだから…



新倉道蔵サン

コンピュータのマインズとして、より多くのユーザーに認められてきたので、その期待を裏切らないように、'92年もその開発に全力を専念します。

スポーティ車種のコンピュータは全部開発していかたいが、現実はキビシイ。とりあえず少しでも多くのクルマを手がける。まずはカブチーノやニューRX-7などがターゲット。ほかオリジナルのブーストメーターやスピードメーターなども登場させていきますよ。

合法チューンに力を入れますよ、
とりあえず、GTOを使って車検
が通るチェックを実行します。
このクルマで得た真のノウハウ
を、ドンドンほかのクルマにもフ
ィードバックさせていきますよ。
それと、ステンレスでのエキゾ
ーストマニホールド作りも、いつ
もながらクオリティアップしてい
きますからヨロシクね。
代表取締役社長 神保義則サン

J&K

合法チューンと
夕足に全力投球

少YVとしても考えます

どうでしたか、ギヨーカイの30
人の方々のコメントは? 皆さん
自分のコトだけ考えてるワケで
なくて、YVを読んでいるみんな
のコトや、社会のコトもシッカリ
と見てますよね。

さて、そこでYVの抱負は、や
っぱり、毎度毎度いつているよう
に、クルマ大好きなオイラたちが
これからずっと、走りを楽しめる
方向で考えていかないと、楽しい
未来はないですよね。

自分がいる今。だけ考えるの
ではなく、あとからくる仲間のコト
も十分に考えてやつていきますの
で、応援たのんます!

